

第17回多摩川子ども環境シンポジウムを開催しました



フォレスト・イン昭和館(昭島市)シルバンホールにて

2024年12月14日(土)、「第17回多摩川子ども環境シンポジウム」が昭島市のフォレスト・イン昭和館において開催され、総勢147名の発表関係者・来場者が会場のシルバンホールに集まりました。

午後2時。当フォーラム平岡副会長による開会挨拶の後、中学校1年生の司会進行により、10組の小学生による発表会が始まりました。発表内容は以下の通りです。

- ①「緊急SOS！せせらぎの水 復活大作戦」(川崎市・下布田小学校 6年)
- ②「多摩川のはじまりってどんどこ？」(川崎市・久本小学校 3年)
- ③「多摩川がきれいなひみつ」(奥多摩町・氷川小学校 4年)
- ④「ジャコウアゲハが好きな葉ートを探して」(川崎市・登戸小学校 3年)
- ⑤「ウナギの生態・産卵について」(世田谷区・和光小学校 4年 ウナギ調査団チーム)
- ⑥「ダムの上くみ」(世田谷区・和光小学校 4年 ダム株式会社チーム)
- ⑦「野川と人々のくらし 旧石器時代から現代へ」(調布市・調和小学校 6年)
- ⑧「未来へつながれ！ピオトープ生き物防衛隊」(川崎市・東生田小学校 5年)
- ⑨「御岳山と多摩川」(青梅市・第六小学校 5年)
- ⑩「奥多摩で学ぶ！奥多摩の特産品『わさび』」(奥多摩町・古里小学校 3年)

発表終了後、休憩を挟んで隅内教育研究所の隅内所長から全ての発表に講評をいただいた後、参加した子どもたちと当フォーラム役員が、特に優秀だったと思う発表に投票を行い、最終的に、グランプリには③「多摩川がきれいなひみつ」が、準グランプリには⑦「野川と人々のくらし 旧石器時代から現代へ」が、そして審査員特別賞には⑩「奥多摩で学ぶ！奥多摩の特産品『わさび』」が選ばれました。受賞者には、隅内所長からトロフィー（審査員特別賞は楯）と賞状が授与されました。

最後に当フォーラム山崎教育文化副部会長の閉会挨拶で発表会は終了しました。

来場者からは「みんなよく調べていて感心しました」「子どもたちの探求心や学ぼうとする姿勢が素晴らしかった」「新しい学びを沢山いただきました」等の感想をいただきました。

第18回目となる来年度は、2025年12月13日(土)にホテルエミシア東京立川2階キャンティグラndeで開催する予定です。来年もご期待ください！

イベント当日の様様



会場のフォレスト・イン昭和館。受付に続々と集まる発表関係者。



ホワイエには発表者の研究材料等が所狭しと展示されました。



シルバンホールには147名の来場者が。



午後2時。中学校1年生の司会進行で発表会はスタートしました。



当フォーラム平岡副会長より、細野会長からお預かりしたメッセージを代読いただき、いよいよ10組の発表が始まります。



①「緊急SOS! せせらぎの水 復活大作戦」



②「多摩川のはじまりってどんどころ？」



③「多摩川がきれいなひみつ」



④ 「ジャコウアゲハの好きな葉ートを探して」



⑤ 「ウナギの生態・産卵について」



⑥ 「ダムのおもしろさ」



⑦ 「野川と人々の暮らし 旧石器時代から現代へ」



⑧ 「未来へつながれ！バイオープ生き物防衛隊」



⑨ 「御岳山と多摩川」



⑩ 「奥多摩で学ぶ！奥多摩の特産品『わさび』」



投票結果を踏まえ、別室にて審査員特別賞の受賞者を相談しながら決める役員の皆さん。



休憩の後、隅内所長から各発表の講評をいただき、いよいよ受賞者の発表です。



◆グランプリ◆

③「多摩川がきれいなひみつ」
奥多摩町・氷川小学校



◆準グランプリ◆

⑦「野川と人々のくらし 旧石器時代から現代へ」
調布市・調布小学校



◆審査員特別賞◆

⑩「奥多摩で学ぶ！奥多摩の特産品『わさび』」
奥多摩町・古里小学校



最後に当フォーラム山崎教育文化副部会長から閉会挨拶をいただき、発表者全員が起立し、来場者に一礼して発表会は終了しました。

来年度は
2025年12月13日(土)に
開催予定！お楽しみに♪